

# 地域一体型バーチャルケアによる介護予防推進事業

【平成30年度IoTサービス創出支援事業】

提案者	スマートシティたかまつ推進協議会、香川県高松市、香川高等専門学校、株式会社ミトラ、日本電気株式会社
対象分野	都市・家庭、医療・福祉
実施地域	香川県高松市
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 高松市では高齢化が進み、高齢者の安全確保や見守り体制の構築が必要。総世帯のうち高齢者のみの世帯は21.6%と高い。</li> <li>▶ 本事業では、IoTデバイスを活用し、バイタル情報(呼吸・心拍)、位置情報(徘徊対策)、加速度情報(転倒の有無)等の情報を収集し、高齢者の転倒や徘徊等の異常発生時に家族・民生委員・ケアマネジャー等に通知することで地域見守り体制を整備。</li> <li>▶ 収集したデータは、匿名化した上で高松市のFIWAREを活用したIoT共通プラットフォームに蓄積し、日時、天気、エリア等のデータと重ね合わせることで、アクシデントが生じやすい時間帯にアラートを発信し、事故予防を行う。</li> </ul>

## 地域課題(問題点)

## 地域課題解決に資するIoTサービス

## 実証成果(KPI)

### 高齢者の安全確保

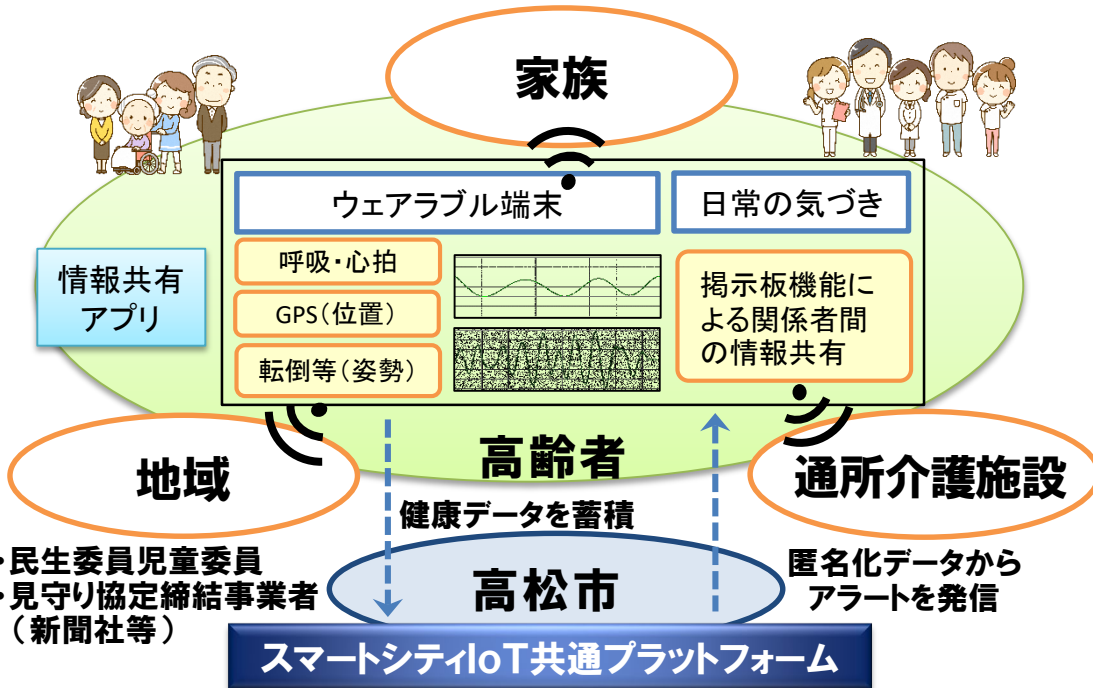
ひとり暮らし高齢者の増加等により、サービス付き高齢者向け住宅等での転倒事故等発生件数114件(年間)  
○すぐに対応できていない割合50.9%(年間)

### 高齢者の事故予防

介護施設の人手不足等により、サービス付き高齢者向け住宅等での転倒事故等発生件数の増加  
○114件(年間)

### 見守り体制の複層化

自治会加入率が6割程度と、地域でのつながりの希薄化が進行  
○1日中誰からも見守られる機会のない人の増加(民生委員1人当たり、高齢者144人を担当している状況)



### 高齢者の安全確保

○転倒事故等発生時にすぐに対応できていない割合と時間の削減  
【結果:62%】  
10分以内に対応した割合

### 高齢者の事故予防

○介護施設等における転倒事故発生件数の削減  
【結果:本実証での転倒は0件】  
※引き続き検証を続ける予定  
参考:本市全体での転倒は166件

### 見守り体制の複層化

○1日に地域の方々等に見守られる回数の増加  
【結果:2.8人】  
サ高住は3人、在宅は2.5人

# 地域一体型バーチャルケアによる介護予防推進事業

## 実施効果

指標など	29年度(事業開始前)	30年度(事業開始後)
転倒が発生した際に10分以内に対応できた割合	49%(年間)	62%
データの利活用等から期待される事項	匿名化した上で高松市が構築したIoT共通プラットフォームに蓄積し、日時、天気、エリア等のデータと重ね合わせることで、アクシデントが生じやすい時間帯等を見える化、事故予防を行うことも可能。	

総事業費:44,996千円

初期費用:国からの委託:34,996千円 市からの補助:10,000千円